

## [概要]

本研究では、黒部市のデマンドタクシー利用者と非利用者を比較し、非利用の理由を明らかにすることを目的とした。中山間地域では、公共交通機関の縮小が進む一方で、デマンドタクシーの導入が進められている。しかし、導入後も利用しない住民が多く、その要因は十分に解明されていない。本研究では、利用者と非利用者の生活環境や移動手段の違いに着目し、アンケートおよびインタビュー調査を実施した。

その結果、利用者は主に高齢者であり、運転免許を持たず、移動手段が限られているため、デマンドタクシーを不可欠な交通手段と認識していた。一方、非利用者は自家用車を主な移動手段とし、住民同士の助け合いによって移動手段を確保していた。また、地域への愛着や住民間の強い結びつきが、デマンドタクシーの必要性を低下させる要因となっていた。

キーワード：デマンドタクシー，公共交通，地域愛着